



松本 紀史 議員

厚労省は「子宮頸がんワクチン」接種の勧奨を中止!

子宮頸がんワクチンの副作用の情報をどう知らせるのか

【問】4月から「定期予防接種」となったが全国的に多くの副作用(重篤含)が報告されている。厚労省では5月に調査を開始した。市は4月に予防票を送付したが、副作用についてよくわかっていない保護者への情報提供をどのように考えているのか。

【答】予防票にパンフレットを同封して情報提供している。接種を委託している医療機関でも事前説明が行なわれることになっている。国等の情報を把握し提供するように努めていく。(この質問の5日後、厚労省ではワクチン

ン接種を勧奨することの中止を発表した。)

若者定住促進の取り組み

【問】若者定住促進のために、市民ニーズ等の調査をしたのか、また制度拡充について積極的に取り組む考えはあるのか。

【答】今年度から地元出身大学生等に定期的に各種情報提供を行う事業等の中でアンケート調査を実施している。第八次総合計画の策定に向けて若者のニーズ把握に努め、若者定住促進事業補助金も含めた総合的な施策について研究していく。

サッカー場の整備について

【問】多くのサッカー大会が近隣市等の会場を利用して開催されている現状だ。市はサッカー場を整備する考えはあるのか。

【答】大会が近隣市の会場を利用して、行われていることは把握している。青少年育成や競技の振興、社会体育施設の改修整備など総合的に勘案しながら第八次総合計画を策定する中で検討していく。



職員の病気休職者の復帰支援について

【問】休職中のケアと職場復帰までの支援内容はどのようなのか。

【答】復帰に向けたリハビリ勤務、復帰後のメンタル相談など段階に応じた確かなサポートを継続していく。



北村 征男 議員

北アルプスの観光対策は

乗鞍スカイラインの現状と対策は

【問】ゴールデンウィーク前の開通は。

【答】本来は6月1日が開通日である。5月15日からの開通を試行的に続けているが、本開通とするよう県に働きかけている。ゴールデンウィーク前の開通は難しい。

ジオパーク(大地の公園)の取り組みは

【問】北アルプス笠ヶ岳を中心にジオパーク登録に向け奥飛騨温泉郷地区準備委員会が、活動されているが、現状とエリアは。

【答】高山市も共に協議会設立の準備をしている。当面は、奥飛騨温泉郷・上宝地域、丹生川地域を中心に協議会を設立し登録認定に向けた準備を進める。

資源リサイクルセンターの改善は

【問】一日の持ち込み台数は。料金を計量所で支払うことはできないのか。

【答】一日総数は約180台、一般の車両は約60台である。システム更新に多額の経費を要し、ごみピットにも制限があり搬入車が待っている状況である。待ち時間が長くなると事故・トラブルが心配されるため、別場所での支払いとしている。

